



日本共産党
北茨城市委員会
浦町並木100-7
毎週 日曜日発行
インターネットでも
ご覧いただけます
http://www.jp-kifu.com/

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

後期高齢者医療制度の地域説明会

市内7カ所
連続開催



2月28日、「ポート大津」

本紙(2月17日号)でもお知らせしたとおり、後期高齢者医療制度についての地域説明会が2月27日～3月3日の日程で開かれていきます。導入予定が一ヶ月後に迫っての開催です。

家族に年寄りがいるからと聞きに来た若い人の姿もあります。2日間、4カ所の段階で、参加者は百人弱にとどまっています。説明後の質疑では、「結局、いくら払うことになるんだ?」「という率直な疑問が出され、それで、オレらは充分な医療が受けられるの?」と不安が語られました。

療が受けられるの?」と不安が語られました。同制度を強行した自民・公明は、昨年の参院選敗北後、実施の半年前になって保険料徴収の一部凍結を打ち出しました。しかし、部分的な層だけが対象であり、時期も限定されたものになります。いつばう、ここへきて国会では2月28日、野党4党が共同して、同制度の廃止法案を提出したことが報じられています。ひきつづき注視が必要です。

国保税の値上げ諮問

国保連協で
共産党は反対

2月22日、国民健康保険運営協議会が開かれました。これまでの国保や社保などから75歳以上のお年寄りを引き離し、別立ての保険制度に移行させるのが、右記の後期高齢者医療制度です。これにともなう条例改

正、合わせて国保税の値上げが打ち出されました。同委員である鈴木やす子市議は、「収入が減り体力の不調も多くなるお年寄りから無情にも新たに保険料を取り立て、診療にも差別を持ち込もうとする、後期

市予算案

一般会計は142億円

マイナス0.6%

市民要求の一定の実現も

2008年度の北茨城市の予算案が2月26日に内示されました。大要は表のとおりで、このうち特別会計が大幅に減っているのは後期高齢者医療制度の導入にともなうものです。

2008年度北茨城予算案

		前年度比
一般会計	142億3100万円	0.6%
特別会計 (国保 介護など)	93億3675万円	32.2%
企業会計 (水道 病院など)	52億7705万円	1.6%
合計	288億4480万円	13.8%

一般会計の主な施策では、

日本共産党市議団がこの間要求してきた3歳未満の乳幼児医療費の無料化、また少子化対策として第3子以降の出産に対する祝金、小学校(7校)のトイレの洋式化改修工事、小学校全12校への自動体外除細動器(AED)の設置、市民ふれあいセンターの改修音響とイス可

予算要望に市長が回答書

日本共産党市議団は市民要求の実現を求め、昨年11月に「予算要求書」を豊田市長に提出しました。これに対する回答書が2月22日、市長から手渡されました。

予算内示にあるとおり、3才未満児の医療費無料化、



豊田市長から回答書を受け取る
福田明、鈴木やす子両市議

妊婦健診公費負担の2回から5回への拡充が約束されました。また、難病患者への見舞金制度では、保健所との連携で該当者のほぼ全員に支給されました。教育費では、学級費相当分の予算増額がはかられています。平和事業については、実施の検討が回答されました。今回、長年要求してきたものがいくつか実現の運びとなりました。全体にはまだまだ検討課題も多いですが、今後とも市民要求実現のために、粘り強く市長・行政に働きかけていきます。

動式化整備、消防ポンプ車2台購入等々の予算が計上されています。

議員への説明の中で、豊田市長は「きびしい財政状況のもとで緊縮型の予算となっているが、市民生活と福祉の向上に資するものになっっていると思う」と述べました。

これらの予算案を審議する定例市議会が3月4～19日の日程で開かれます。一般質問は3月10、11日の予定です。